

28 阿地第 57 号
平成 28 年 10 月 7 日

長野県建設部
リニア整備推進局長
水間 武樹 様

阿智村リニア対策委員会
会長 稲垣 孝光



リニア中央新幹線整備に関する質問書 (No.2) について (お願い)

秋晴の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

阿智村リニア対策委員会は、設置目的を「阿智村におけるリニア中央新幹線整備事業にかかる課題に対し、情報を共有し、その対応について協議、調査し、長野県等関係機関と連携を図りながら、東海旅客鉄道株式会社等に対して適切な対応を求める。また、その実現をもって住民の安全と安心を確保することを目的とし、阿智村リニア対策委員会を置く。」とし、村、議会が新たに委員会に加わり村一丸となって進めていくよう一部組織の見直しを行いました。

さて、8 月 29 日の阿智村リニア対策委員会において、リニア中央新幹線整備に関する質問書に対する長野県からの回答説明に対し、疑義等について下記のとおり質問事項を取りまとめました。

お手数とは存じますがこれもリニア中央新幹線の推進に必要なことと考えますので、文書にてご回答をいただきたくお願い申し上げます。

記

(質問)

質問②『現在までの阿智村や議会、住民の要望に対しての JR 東海の説明や住民との協議状況、住民の認識状況では、発表されている事業の工期スケジュールより実際の工事開始は遅延されると思われます。阿智村住民は「地元住民の理解、合意ができなければ JR 東海は工事着工しない」と思っていますが、県としての見解をお示し下さい。』という質問に対し、『JR 東海では、環境影響評価書に対する国土交通大臣の「本事業を円滑実施するためには、地元の理解と協力を得ることが不可欠である。」との意見に対し、「事業の円滑な推進にあたっては、地元のご理解とご協力を得ることが重要と認識」と応えています。現に、

JR 東海は、大鹿村における 住民説明会等においても、「地元の理解が得られなければ、着工できないと考えている。」との考えを重ねて示しています。県としても、地元住民の理解を得ることが工事着手の前提になると考えています。』という回答をされていますが、9月13日大鹿村の工事説明会で「工事の説明に対する質問が多くやった意味があった。理解を進めていただくことができたと感じている。」と JR 東海は発言しています。「工事の説明に対しての質問が理解を得られた」と受け取られるとすれば、質問することさえできない。「住民の理解・合意」についての県の見解をお示してください。

質問④『南木曾の発生土の村内置き場、発生土運搬車輛の村内通行について、村長は「受け入れ難い」と表明され、村議会リニア特別委員会、リニア対策委員会も同調することを確認しています。県の見解をお示し下さい。』という質問に対し、『阿智村長が、本年5月12日の阿智村リニア対策委員会において、南木曾町のリニア工事の発生土について、「阿智村清内路の斜坑から出る残土置き場も決まっていないことから、受け入れることは難しい。」との発言をされていることは承知しています。また、阿智村長は本年1月28日の阿智村議会において、村内の発生土については、村内で受け入れる旨表明いただいております、まずは阿智村内における発生土置き場を確定いただくことが必要と考えています。リニア工事の発生土置き場に関しては、その工事が行われる市町村内に設けることが望ましいところですが、物理的な理由等により、十分な発生土置き場を確保できない場合には、県としても広くご意見をお聞きしながら、近隣市町村と JR 東海との間の調整を図っていく考えです。』と回答されていますが、南木曾から排出される土について JR 東海は「妻籠宿、昼神温泉を考えるとこの間で発生土置き場を見つけるのが良い。」と発言されましたが、国道256号は昼神温泉と木曾路を結ぶ重要な観光道路です。昼神温泉から国道19号やJR中央西線、妻籠、馬籠宿との連携ルートとして重要な道路であり、阿智村も今春中津川駅と昼神温泉間のバスの試験運行を実施したところです。国道256号がダンプ街道になり、妻籠、馬籠宿や昼神温泉だけでなく国道256号沿いの観光関連施設への悪影響はまぬがれません。県は国道256号についてどのような見解をお持ちでしょうか。

質問⑦『県は中央道座光寺スマートICとリニア駅を結ぶアクセス道路として整備する座光寺上郷道路などリニア関連道路の予定箇所を公表されたようだが、阿智村関係があればお示し下さい。』という質問に対し、『県では、リニア中央新幹線の整備効果を広く県内に波及させることを目的として平成26年3月に「長野県リニア活用基本構想」を策定いたしました。この構想に基づき、昨年

度から、リニア関連道路整備として「長野県駅周辺の道路整備」、「高速道路とリニアを一体化する道路整備」、「発生土の運搬路確保に合わせた道路整備」、「山梨県駅、岐阜県駅を含むリニア 3 駅活用交流圏の実現に向けた道路整備」の 4 つの観点から、整備箇所を取りまとめ、関係市町村等との連携や調整を図りながら、計画的に道路整備を進めています。阿智村内については、現時点において、上記のリニア関連道路整備として位置づけた計画はありません。』と回答されましたが、排出土運搬道路は JR 東海の対応のみでしょうか。発生土の運搬路確保に合わせた道路整備として県の考えをお示してください。

以上